Tricycle トライシクル カラーズ COLORS

取扱説明書

目次

①定義とシンボルマークについて ・・・・・・P1
②安全上の注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・P1
③梱包内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
④各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
⑤組み立て方法
●シャフト付き後輪の取り付け・・・・・・・・・ P2
●後輪の取り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
●前輪・ハンドルの取り付け・・・・・・・・・・・・ P3
●ステップの取り付け・・・・・・・・・・・・・・・・ P3
●サドルの固定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P3
●コントロールバーの組み立て・・・・・・・・・ P3
●コントロールバーの取り付け・・・・・・・・・ P3
⑥コントロールバーの取り外し方法 ・・・・・・P4
⑦ステップの取り外し方法 ・・・・・・・・・・・・P4
⑧ブレーキの取り扱い ・・・・・・・・・・・・・・・P4
⑨ワイヤーユニットの取り外し / 交換取り付け方法・P5
⑩ロック＆フリーの取り扱い・・・・・・・・・・・P6
三輪車組み立てチェック表 ・・・・・・・・・・・・P6
品質保証書

お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は必ずお読みいただき安全上の注意事項を良くご理解の上、商品をご使用ください。不適切な取り扱いは事故につながる恐れがあります。また、本書をいつでも参照できるように大切に保管してください。

ides

① 定義とシンボルマークについて

この取扱説明書では以下のような内容が「警告」、「注意」として記載されています。

⚠警告 身体に関する危険
守らないと人身事故が発生したり、創傷や火傷の可能性がある。

注 意 財物や商品本体に関する危険
守らないと財物や商品本体に損傷の可能性がある。

② 安全上の注意事項

【ご使用されるお客様へお願い】

本商品は公園等、屋外での使用を前提に企画されております。人通りの多いところでは、人にぶつかる等思わぬケガの原因となることもありますので十分ご注意ください。店舗等におけるご使用につきましては、その店舗の運営者にご確認の上ご使用されるようお願い致します。

●SGマーク制度は三輪車の欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。
●この商品はSG基準により安定性、走行性、耐荷重、耐衝撃に合格した商品です。
●ご購入日より二年間の対人賠償責任保険がついていますので、安心してお乗りください。
●対象年齢：1.5歳～5 歳未満　身長目安：80cm～100cm まで
　乗車体重：20kg まで

⚠警告

●初めて乗るお子様は、保護者が使用上の注意を指導し、保護者のもとで遊ばせてください。
●お子様の足は地面およびペダルまたはステップに確実につくことを確認してから使用してください。
●ご使用の際は、必ずお子様に靴を履かせてからご使用ください。裸足で使用すると隙間等で思わぬケガをする恐れがあります。
●坂道での使用は、避けてください。
●交通の頻繁な道路、車両交通の多い場所では使用しないでください。
●2人乗りなどの危ない乗り方は絶対にしないでください。
●車輪の周囲や回転部分には手や足を入れないでください。
●斜面および段差のある場所、転落の恐れのある場所では乗らないでください。
●三輪車は構造上、ハンドルを切ったとき、ペダルを踏み込んだときに転倒することがあるので注意してください。
●お子様を乗せたまま三輪車を持ち上げないでください。
●幼児の足がペダルにのっている場合、コントロールバーの操作で無理な力を加えないでください。
●小さな部品があり、誤飲の危険があります。組み立てや部品の取り外し作業はお子様がそばにいない状態で行ってください。
●業務用・団体用で使用しないでください。
●三輪車以外の目的では使用しないでください。
●コントロールバーで操作する際は過度の荷重をかけたり、急な操作はしないでください。
●コントロールバーとステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになりましたら必ずコントロールバーとステップは取り外してください。
●幼児、子供にコントロールバーを操作させないでください。
●コントロールバーの操作は必ず保護者が行い、幼児の足が巻き込まれないように注意してください。
●コントロールバーを付けた状態で使用するときは、必ずステップを使用し、ロック&フリー機能をフリーの状態にしてください。
●お子様がサドルに立ち上がらないように注意してください。また、コントロールバーに寄りかかると倒れる恐れがありますので十分に注意してください。
●コントロールバーに物を掛けたりすると倒れる恐れがあるので、物をかけないでください。

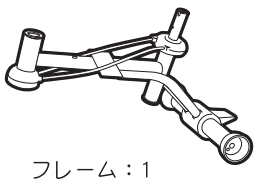
注 意

●使用前には必ず手入れ、点検を行ってください。故障および破損したまま使用しないでください。
●長い間の使用でネジがゆるむことがあります。お手数でも締め直してください。
●屋外で使用された後は直射日光を避け、雨ざらしにしないでください。
●火気のある所、高温の場所には近づけないでください。
●砂場や水たまりで使用しないでください。

※本書には上記以外にも各操作に応じた「警告」、「注意」が表記してありますので、そちらもお読みください。

③ 梱包内容

※タイヤは材質の特性上、輸送時の衝撃などで表面に凹みが見られる場合がありますが、問題なくご使用いただけます。


フレーム：1

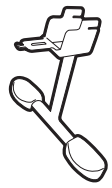
前輪： 1

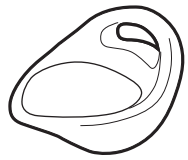
後輪：1

ホイール
キャップ：1

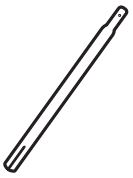
シャフト付き
後輪：1

ハンドル： 1


ステップ： 1


サドル：1

コントロール
バー㊤：1


コントロール
バー㊦：1

取扱説明書：1

小部品セット

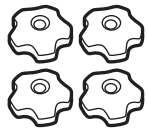
レンチ：1

ヘッド
カバー：1

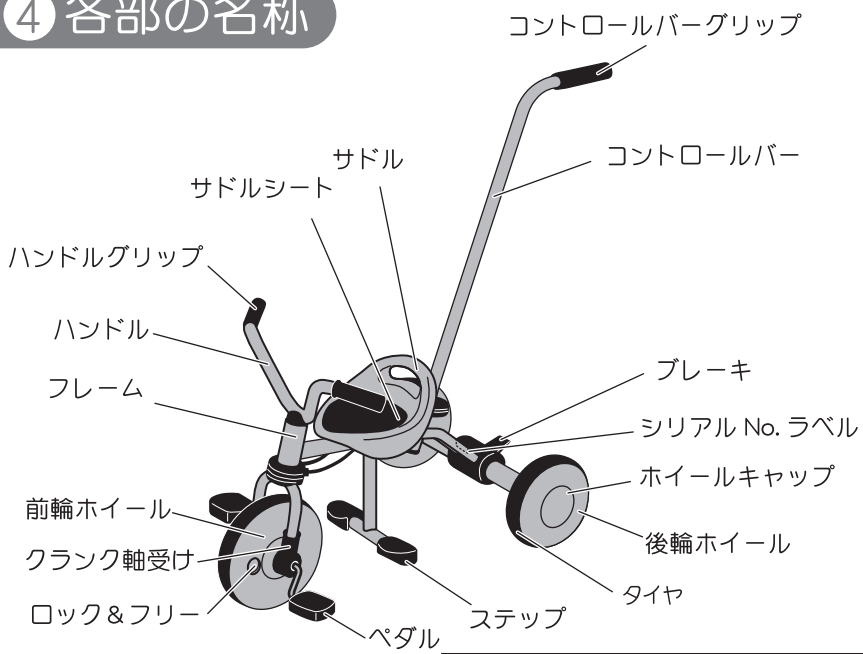
ストッパー：1

取り付け工具：1

角根ネジ：1


ノブナット：4

④ 各部の名称



【材質】

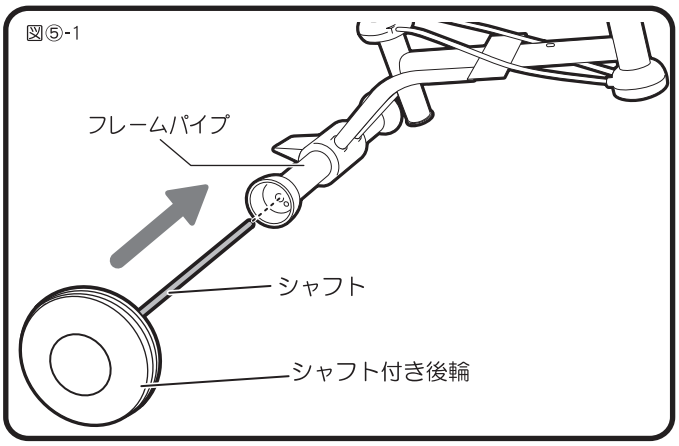
フレーム：スチール
ハンドル：スチール
コントロールバー：スチール
コントロールバーグリップ：塩化ビニール（PVC）
前 / 後輪ホイール：ポリプロピレン（PP）
ステップ：ポリプロピレン（PP）
サドル：ポリエチレン（PE）
サドルシート：塩化ビニール（PVC）
前 / 後輪タイヤ：塩化ビニール（PVC）
ハンドルグリップ：EVA

⑤ 組み立て方法

- 組み立ては保護者の方が行ってください。
- 本書にそって三輪車の組み立てが完了しましたら、【三輪車 組み立てチェック表】を確認し、最終チェックを行ってください。お子様が三輪車に乗っている状態でチェックしないでください。

●シャフト付き後輪の取り付け

図⑤-1



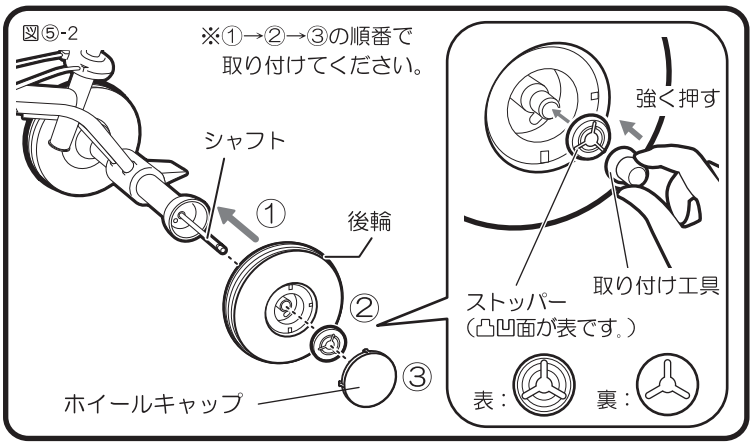
・シャフトをフレームパイプに通します。

注 意

●後輪取り付け後、後輪を引っ張り、フレームから外れないことを確認してください。
●ストッパーは、一度取り付けると外すことができませんのでご注意ください。

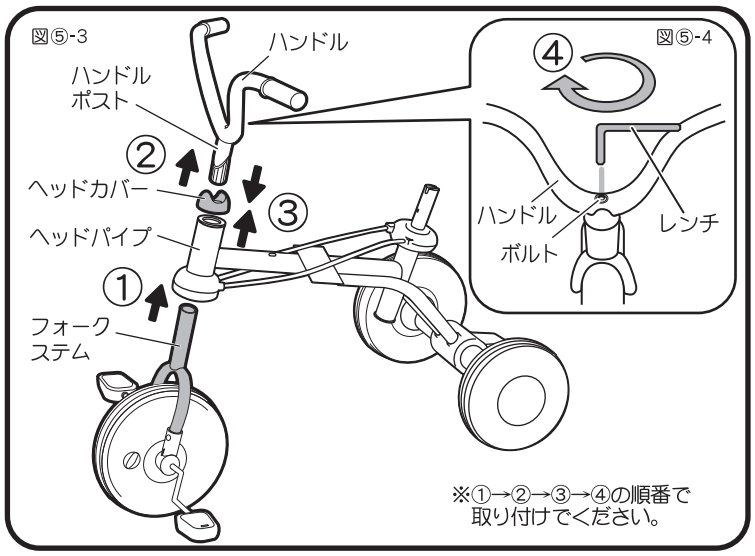
●後輪の取り付け

図⑤-2



①シャフトに後輪を通します。
②取り付け工具を使用してストッパーで固定します（取り付け工具はストッパーを固定したら不要となりますので、**ホイールキャップの中には入れないでください**）。
③後輪取り付け確認後、ホイールキャップをはめ込みます。

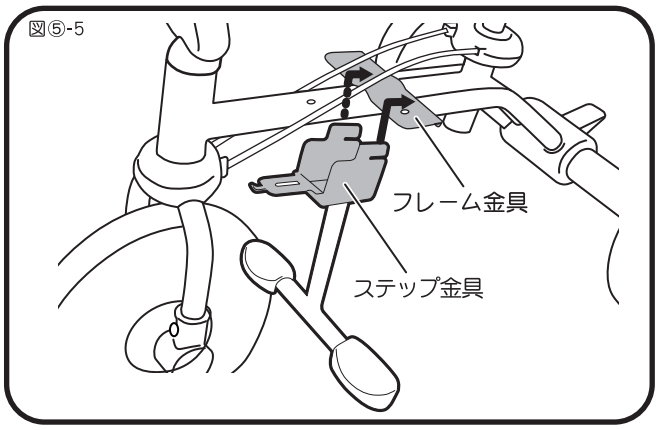
●前輪•ハンドルの取り付け



①ヘッドパイプにフォークステムを通します。
②ハンドルポストにヘッドカバーを通します。
③①のヘッドパイプに②のハンドルポストを差し込みます。
※ヘッドパイプとヘッドカバーの間にすき間がないように差し込んでください。
④レンチを使用し、ハンドル中央のボルトを強く締め付けてハンドルを固定します。
※レンチは図のように短い方を差し込んでご使用ください。

注 意 ●前輪を固定し、ハンドルに回転の力をあたえてもハンドルが回転しない事を確認してください。

●ステップの取り付け



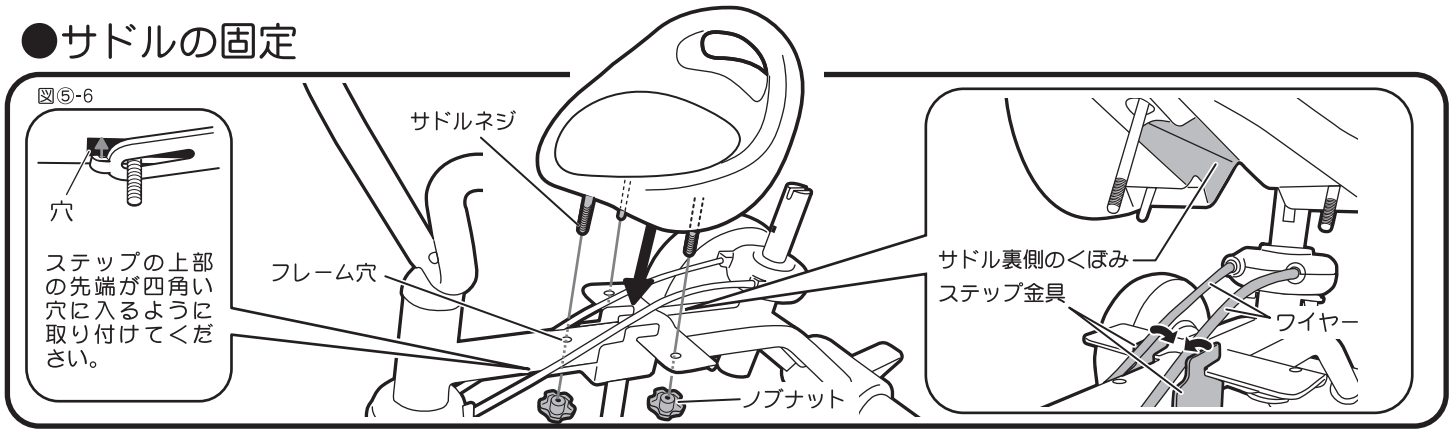
・ステップ金具の先端をフレーム金具に引っ掛け、後ろへずらしてください。

必ず確認してください。

ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック＆フリー機能をフリーにしてください。
※ロック＆フリー機能については 6 ページ【ロック＆フリーの取り扱い】を参照してください。

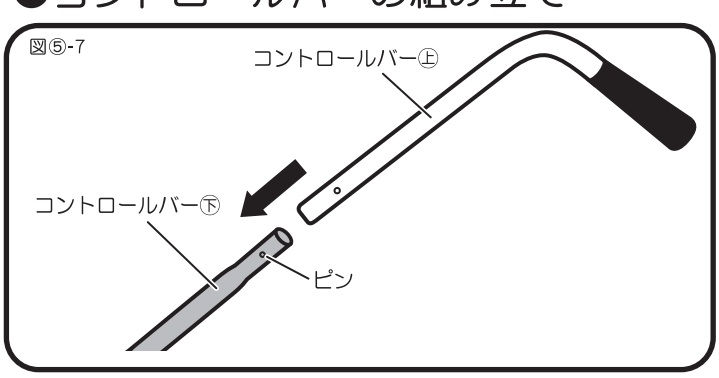
注 意
●ステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになったら必ず外してください。
●ステップの上に立たないでください。ステップは乗り降りするときの踏み台にしないでください。
●ステップ、サドルの取り付けはノブナットでしっかり固定してください。

●サドルの固定



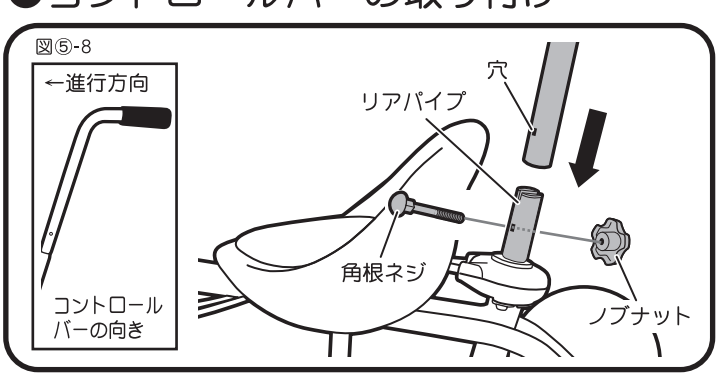
・サドルネジをフレーム穴に貫通させてください。
その際、ワイヤーをステップ金具の[内側]に入れ、サドル裏側のくぼみの[内側]に入るようにしてください。
・フレーム下からネジ先端が出たら、ノブナットで３カ所強く締め付けてください。

●コントロールバーの組み立て



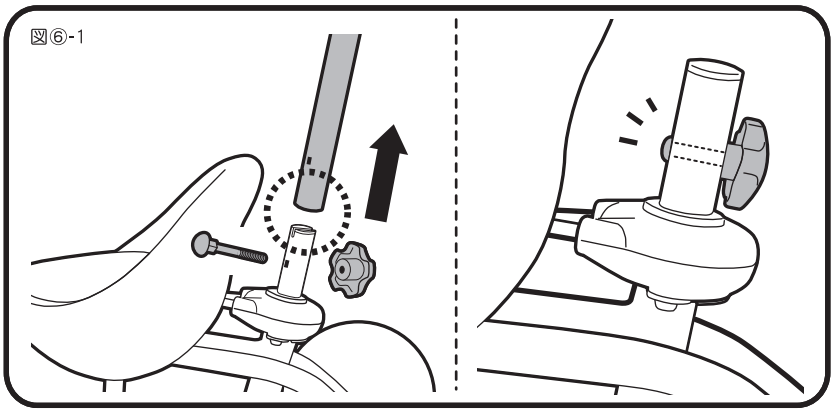
・コントロールバー㊦のピンを押しながら、コントロールバー㊤を差し込んでください。
コントロールバーのピンが穴から出ていることを確認してください。

●コントロールバーの取り付け



・図のような向きでコントロールバーをリアパイプに差し込みます。コントロールバーの穴とリアパイプの穴を重ねて、角根ネジを通し、ノブナットで締め付けます。

⑥ コントロールバーの取り外し方法



・ノブナットを外し角根ネジを抜いて、コントロールバーを取り外します。
・角根ネジとノブナットを再度取り付けてください。

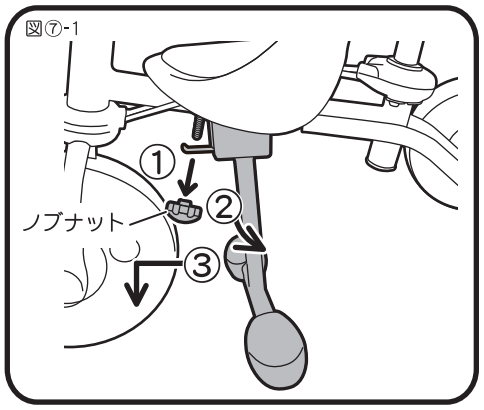
⚠ 警告

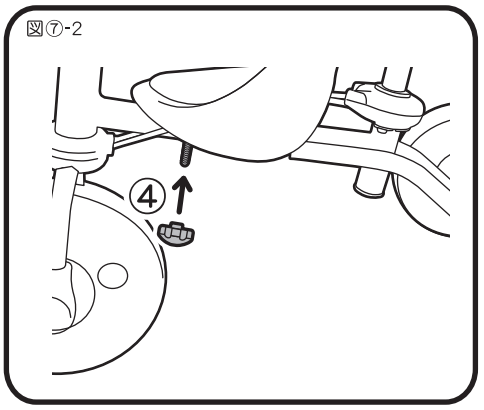
●コントロールバーをご使用の際は、前輪をフリー状態(6 ページ図⑩-2 参照)にしてください。
●ピンが穴から出ていることを確認して使用してください。ピンが出ていないと使用中にコントロールバーの上部が抜けてしまう可能性があります。
●コントロールバーのグリップ部分に荷物などを乗せたり、掛けたりしないでください。転倒の恐れがあります。

注 意

●段差のある場所でのご使用は避けてください。また、壁などにぶつけないでください。
●コントロールバーには前後左右のガタ、かじとり機能にあそびがありますが、設計上のものであり異常ではありません。

⑦ ステップの取り外し方法





①サドルネジからノブナットを外します。
②ステップを傾けます。
③前方へスライドさせ取り外してください。
④ノブナットを再度取り付けてください。

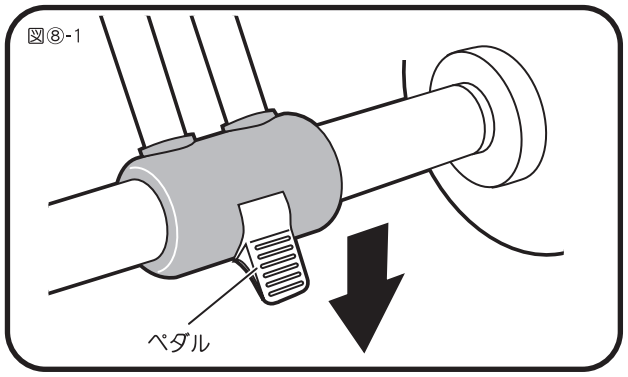
⚠ 警告

●取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。小さな部品はお子様が誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。

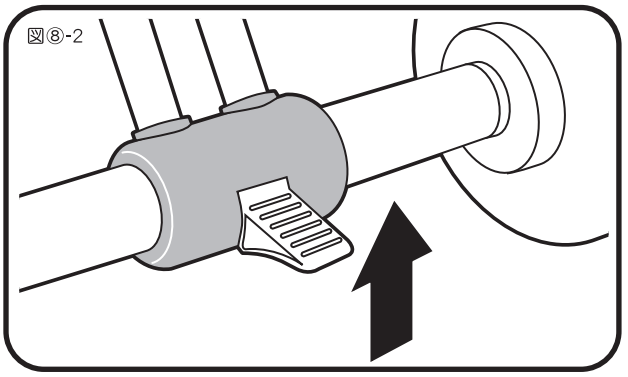
注 意

●ステップの取り外しは保護者が行ってください。
●ノブナットはしっかりと固定してください。

⑧ ブレーキの取り扱い



・ブレーキをかけたいときはペダルを踏んでください。



・ブレーキを解除したいときはペダルをあげてください。

⚠ 警告

●三輪車の走行中にブレーキをかけないでください。転倒や故障の原因になります。ブレーキの操作は必ず停止した状態で行ってください。
●お子様を三輪車に乗せたときはブレーキを過信しないでください。ブレーキをかけても動き出す恐れがあります。

注 意

●ブレーキの上げ下げは保護者が行ってください。
●三輪車を動かす前に必ずブレーキが解除されていることを確認してください。ブレーキをかけたまま走行すると故障の原因になります。

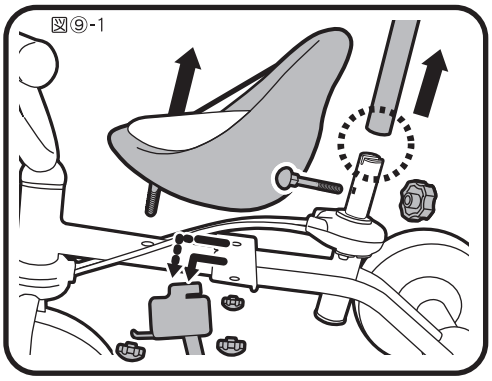
⑨ ワイヤーユニットの取り外し/交換取り付け方法

ワイヤーユニットの取り外し、交換取り付けをするときはプラスドライバーが必要です。
プラスドライバーは付属していませんのでご家庭のものをご使用ください。

⚠警告	●ワイヤーユニットの取り外し、交換取り付けは保護者の方が行ってください。 小さな部品はお子様が誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。
注意	●ワイヤーは消耗品です。伸びたり、切れたりした場合はワイヤーユニットを交換してください。 ●ワイヤーユニットは有償にて承ります。当社お客様相談室にお問い合わせください。

●ワイヤーユニットの取り外し

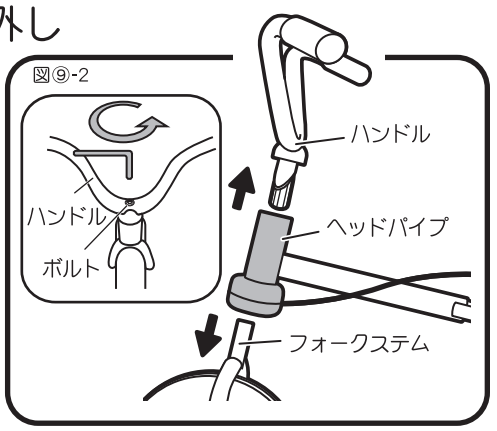
図⑨-1



1.コントロールバー、サドル、ステップを取り外す

・コントロールバーを取り外します。
ノブナットを外し、サドルとステップを取り外します。

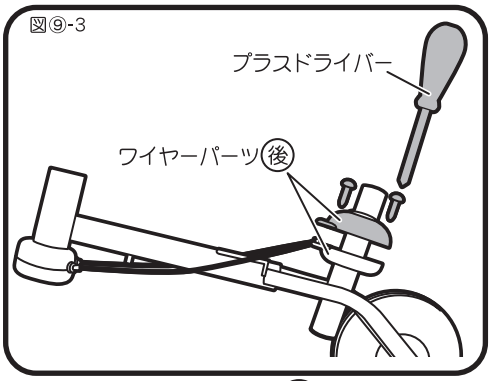
図⑨-2



2.ハンドルとフォークを取り外す

・レンチを使用し、ハンドル中央のボルトをゆるめます。ハンドルとフォークステムをヘッドパイプから引き抜きます。

図⑨-3

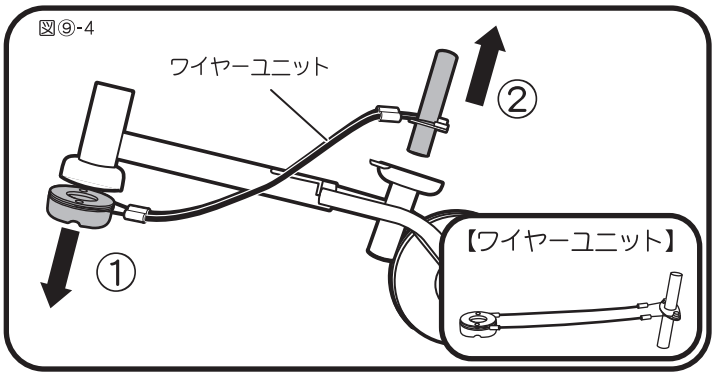


3.ワイヤーパーツ(後)を分解する

・プラスドライバーを使用し、ワイヤーパーツ(後)の上面のネジ２カ所をゆるめ、ワイヤーパーツ(後)を上下に分解します。

●ワイヤーユニットの交換取り付け方法

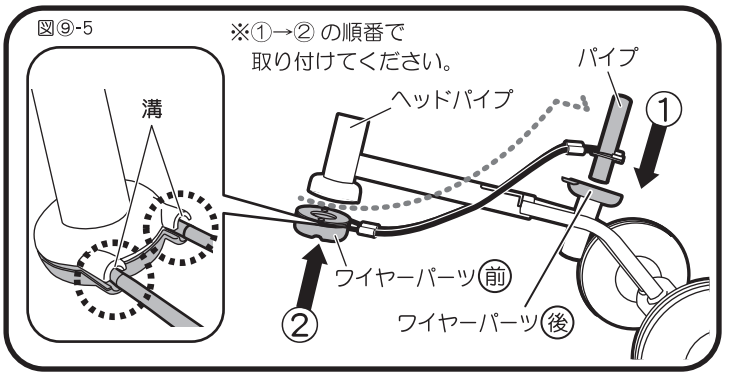
図⑨-4



4.ワイヤーユニットを取り外す

・①→②の順番でワイヤーユニットを取り外します。
フレーム前方から引き抜いてください。

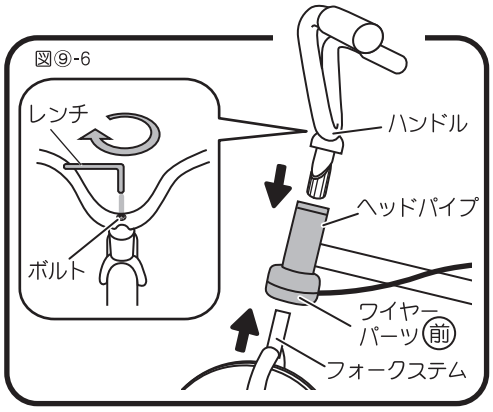
図⑨-5



1.ワイヤーユニットを固定する

①ワイヤーユニットの２本のワイヤーの間にフレームを通し、ワイヤーユニットのパイプをワイヤーパーツ(後)に差し込みます。
②ワイヤーパーツ(前)をヘッドパイプにはめ込みます。
ワイヤーがワイヤーパーツの溝にはまっているか確認してください。

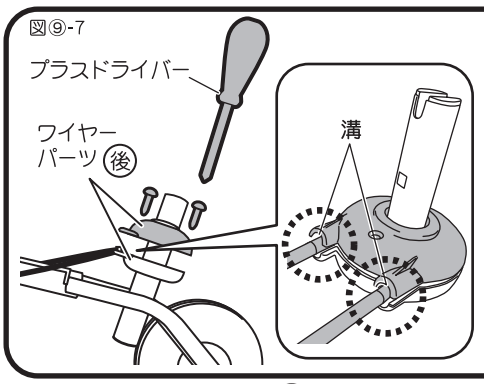
図⑨-6



2.フォークとハンドルを取り付ける

・フォークステムをワイヤーパーツ(前)に通します。
ハンドルをヘッドパイプに通します。
レンチを使用し、ボルトを締め付けてハンドルを固定してください。

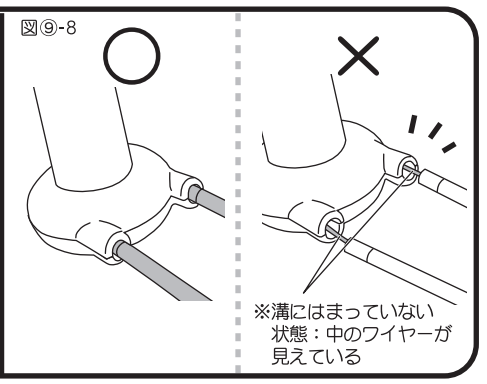
図⑨-7



3.ワイヤーパーツ(後)を取り付ける

・ワイヤーパーツ(後)の上下を取り付けます。
ワイヤーがワイヤーパーツの溝にはまっているか確認してください。
プラスドライバーを使用して、ネジを２カ所締めてください。

図⑨-8

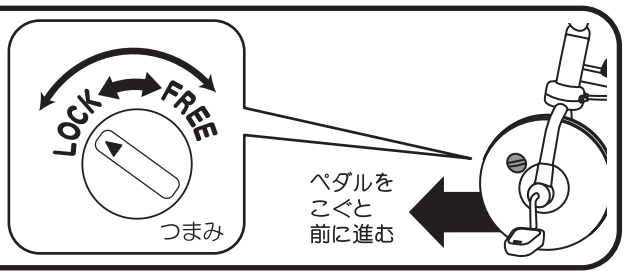


・ワイヤーがパーツの溝に入らないときは、ワイヤーを片方ずつ前後に動かして調整してください。
無理に引っ張ったりしないでください。

⑩ロック＆フリーの取り扱い

●ロック状態

図⑩-1

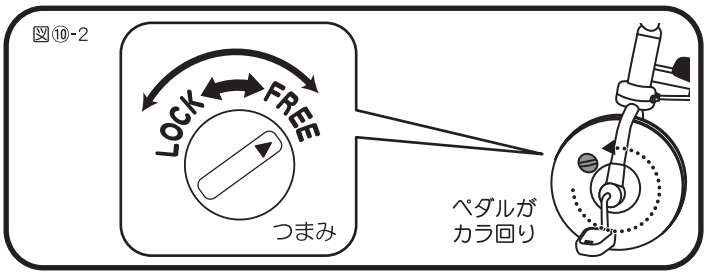


・お子様がペダルをこいで使用する場合は、『つまみ』の▲印をLOCK(ロック)に合わせてください。

〔つまみをロックにすると・・・
前輪とペダルが連動します。お子様自身がペダルをこいでご使用になる場合はこの状態にしてください。〕

●フリー状態

図⑩-2



・保護者がコントロールバーで押す場合は『つまみ』の▲印をFREE(フリー)に合わせてください。

〔つまみをフリーにすると・・・
前輪とペダルが連動しません。保護者の方がコントロールバーの操作を行ってもお子様の足を巻き込むことはありません。〕

フリー機能の説明

フリーにしても前輪とペダルが一緒に回転する場合がありますが、ペダルを手でおさえた状態で前輪が回転すれば異常ではありません。フリー機能はペダルがステップなどに当たっても三輪車が不意に止まってしまったり、お子様がペダルとステップの間に万が一足をはさんでもケガをしないようにするための機能です。

必ず確認してください。	ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック＆フリー機能をフリーにしてください。 ロックにしたまま使用するとペダルがステップにあたり、ステップが破損する恐れがあります。
⚠警告	●ロックの状態でコントロールバーの操作はしないでください。お子様の足を巻き込む恐れがあります。 ●お子様が三輪車に乗った状態でのロック＆フリーの切り替えは危険です。お子様を三輪車から降ろして、切り替え操作を行ってください。 ●坂道での使用は三輪車が自然に動き出すことがあるので避けてください。
注 意	●『ロック＆フリー』の切り替えは、保護者が行ってください。 ●ご使用になる前は、必ずロック、フリーの確認を行ってください。 ●水たまりでの使用や雨ざらしでの保管は避けてください。前輪に水がたまる場合があり、故障の原因になります。

三輪車 組み立てチェック表

取扱説明書にそって三輪車の組み立てが完了しましたら、以下の最終チェックを行ってください。
(※お子様が三輪車に乗っている状態でチェックしないでください。)

✓チェック

【後輪】

□ ①両方の後輪を引っ張り、フレームから外れないことを確認してください。

□ ②ホイールキャップがきちんとはまっていることを確認してください。

【ハンドル】

□ ③前輪を固定し、ハンドルに回転の力をあたえてもハンドルが回転しないことを確認してください。

□ ④ハンドルを上方向に引っぱり、抜けないことを確認してください。

【ノブナット】

□ ⑤サドル下の３カ所のノブナットがしっかり締まっていることを確認してください。

【ステップ】

□ ⑥ステップを上から押して、外れないことを確認してください。

【コントロールバー】

□ ⑦コントロールバーのピンが穴から出ていることを確認してください。

□ ⑧コントロールバーを上方向に引っぱり、抜けないことを確認してください。